様式Ⅳ－１７　　　　　　　　　　　第三者を共同出願人に加える理由書

西暦　　年　　月　　日

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

生物系特定産業技術研究支援センター 所長　殿

（報告者）

研究機関名 ： 共同出願するコンソ構成員（コンソ方式でない場合は受託者）が2者以上の場合はいずれかの機関が代表して報告する。

代表者名 ： 職位も記す。　　　　　　　　公印

下記事業に係る西暦○○年○月○日付け委託契約に基づく委託試験研究の成果に係る特許権等の出願に当たり、下記の協力機関（試験研究計画書に記載された第三者）を共同出願人に加えることをあらかじめ報告します。

１．委託試験研究事業の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | ○○○○○事業 |
| 研究領域（研究課題）名「試験研究計画書名」 | ○○○○○○○ 各事業の研究領域、研究分野、研究課題等を記入する。「○○○○○○○の開発」 |
| コンソーシアム名、代表機関名・代表者名、研究代表者名 | コンソーシアム： コンソーシアム方式でない場合は記入不要。代表機関・代表者： 委託契約書の「代表機関名・代表者名」を記入する。研究代表者： ××大学　××部　○○太郎 |
| 試験研究の実施期間 | 西暦　年　月　日　～　　年　月　日　原契約書の委託期間を記す。 |

２．共同出願人

|  |  |
| --- | --- |
| 構成員（受託者） | ○○大学　　代表者 学長 ○○○○　　本理由書の報告者も記入する。研究実施責任者名：所属部門も記す。○○研究所　代表者　所長 ○○○○　　共同出願する全構成員を記入する。研究実施責任者名：所属部門も記す。 |
| 協力機関 | △△株式会社　代表者　社長 ○○○　 共同出願する全協力機関を記入する。 |
| 協力機関と共同出願する理由 | ＜試験研究計画との整合性＞試験研究計画書に記載した構成員と協力機関との共同研究に係る成果の共同出願であることを具体的に述べる。＜共同研究に至った経緯及び共同出願する妥当性＞＜構成員（受託者）と協力機関との成果の区分＞協力機関が分担した実施内容を記す。特許権等の請求範囲を構成員と協力機関とで区分する場合は、両者の権利範囲を区分して記す。＜コンソーシアムの他の構成員の同意状況＞協力機関と共同出願を行うことについて、他のコンソ構成員から書面（メール可）による同意があらかじめ必要です。コンソ方式でない場合は記入不要。＜その他＞ |
| 特記事項 |  |

＜補足説明＞

一　「発明等報告書（様式Ⅳ－２）」の特記事項欄に、委託契約における秘密保持及び特許権等の取り扱いに係る規定の適用を受けることについて、第三者（協力機関）が同意していることを明記すること。

二　構成員と第三者（協力機関）との共同出願が、より広い権利を得ることを目的として委託業務以外の成果を含む出願である場合は、「発明等報告書（様式Ⅳ－２）」の中で委託業務の成果と委託業務以外の成果とを峻別して記載すること。

三　出願日までに、構成員と第三者（協力機関）との間で特許権等の持分を峻別した共同出願契約を締結すること。

四　共同出願契約の中で、委託試験研究事業との関係並びに委託契約に基づいて行われた委託試験研究の成果の全部又は一部を含む特許権等であることを明示するとともに、当該委託契約が定める秘密の保持及び成果の取扱いに係る規定を優先することを規定すること。

五　構成員は、共同出願契約の内容について生研支援センターへ事前に確認を求めるとともに、生研支援センターが必要と認める場合は、生研支援センターとの間で共同出願契約書の内容について調整を行うこと。

以上